

項目	観点	教科書名	NEW HORIZON(2・東書)	SUNSHINE(9・開隆堂)	NEW CROWN(15・三省堂)	ONE WORLD(17・教出)	Here We Go!(38・光村)	BLUE SKY(61・啓林館)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について		<ul style="list-style-type: none"> Previewでは、アニメを見ながら対話の内容を理解することで、視覚的にも場面や状況を想像できるような工夫がされている。 Real Life Englishでは、生徒にとって身近な話題(修学旅行や電車の乗り換え等)や社会的な話題(絶滅の恐れのある動物や国際会議等)について、目的・場面・状況を意識した活動をスモールステップで行える配慮がされている。 Read and Think1, 2では、社会的な話題について、個人で考えてからペア・グループで話し合うことで考えを深められるような課題が設定されている。 巻末には常活動用のSmall Talkがある。質問だけでなく答えとなる表現の例が示されていることにより、自分の気持ちや状況に合ったやり取りができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> Scenesでは、新出表現がマンガ形式で導入されており、その表現の場面や状況を視覚的にも理解できるように工夫されている。 Power-Upでは、日常生活(天気予報、飲食店等)に即した場面・状況が設定されている。また聞くことからやり取りにつながるなど、4技能5領域を有機的に関連づけた活動が行えるよう配慮されている。 本文の内容を振り返るReview&Retellでは、段階的にリテリングできる工夫がされている。 Actionでは、「誰に、何のために伝えるのか」が示されており、相手意識・目的意識をもった表現活動ができるよう工夫がされている。 社会的な話題についてまとまった量の文を読む活動ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Take Action!では、身近な話題(フードコートでの注文、ラジオニュース等)について話したり、聞いたり、読んだりすることで、会話の場面や言語の働きを意識した言語活動ができるよう配慮されている。 Side Storyでは、本文の後日談などをマンガ形式で読むことにより、自然な流れの対話をもとにして、話すことや書くことの活動に取り組める工夫がされている。 Goal Activityでは、始めに活動の目的・場面・状況を確認することにより、見通しをもって活動に取り組めるよう配慮されている。 社会的な話題について、中学生目線で考えられるような題材を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> Activities Plus1では、日常的な話題についての質問と応答例が扱われていることで、即興的なやり取りにつながる活動ができるよう工夫されている。 Tipsでは、始めに目的・場面・状況を確認した上で活動を行うことができる。また、技能を高めるためのコツが具体的に示されている。 Useful Expressionsでは、日常的な話題(飲食店、買い物等)についてのやり取りを通して、よく使われる表現に慣れ親しむことができるように工夫されている。 社会的な話題について読み取ったことを生かして、自分の考えを他者と伝え合うことができるような課題が設定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末のGoalでは、目的・場面・状況を明確にした終末の活動が設定されている。また読むことから書くことにつながるなど技能統合型の言語活動ができる配慮がされている。 Daily Lifeでは、場面(注文・道案内等)特有の英語表現が学べるように工夫されている。 巻末に帯教材として「Let's Talk」があり、身近な話題について他者とやり取りできるよう配慮されている。 社会的な題材が扱われており、本文が登場人物のやり取りから長文という流れになっていることで、難しい題材でも読むことへの抵抗を少なくする工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> Let'sシリーズ(4技能)では、目的・場面・状況に沿った各技能・領域に特化した活動を行うことができ、実生活中に即したコミュニケーション能力を養うことができるよう配慮されている。 Enjoy Chatでは、本文の内容に準拠した問いが書かれており、Small Talkなどの常活動に利用できるよう工夫がされている。 社会的な題材が扱われており、終末の活動であるThink & SpeakやThink&Write では、単元の目標を達成するために段階的にInputからOutputにつながる活動ができるよう工夫されている。 	
2 内容の程度及び取扱いについて		<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの実現のために、どのような工夫があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭に各Unitごとのねらいが書いてあり、巻末にはCan Doリストが掲載されている。生徒が見通しをもって学習に取り組めるようにしている。 各Unitでは、3回視点を変えて読解する「ラウンドリーディング」を取り入れ、学びを段階的に深めるよう構成している。 機内放送やテレビコマーシャル等、日常生活を想定した言語活動が各学年複数回設定されていて、英語を学ぶよさが実感できるようにしている。 マッピング活用や表現を共有する活動を設定したりするなど、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための工夫がされている。 生活習慣の違いや世界遺産など国際理解を深めるための題材がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に単元ごとのCan Doリストが掲載されており、生徒が見通しをもって学習できるようにしている。 各単元の扉に目標や学習後にできるようになることが示され、写真等で題材への興味付けが図られている。 単元の内容を自分で再構成し簡潔に表現したり、自己表現したりする活動を継続的に取り入れ、学びを深める工夫がされている。 各単元の最後には、モデルを参考に伝えたい内容をマッピングなどに整理する活動を設定し、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせる工夫がされている。教科書に直接書き込んで考えをまとめることができる余裕のあるレイアウトがされている。 各学年3回ずつ、グループでの発表や協働的な学びの活動が取り入れられ、他者の学びを自身に生かす工夫がある。 食文化や世界遺産などの国際理解を深めるための題材がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭に各Unitごとのねらいが書いてあり、巻末にはCan Doリストが掲載されている。生徒が見通しをもって学習に取り組めるようにしている。 各単元の扉に学習後にできるようになることが示され、写真等で題材への興味付けが図られている。 巻末にロールプレイトが付けており、教科書の文を参考にして伝えたいことを整理する活動を設定し、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための工夫が見られる。 海外の伝統工芸品や英語落語などの国際理解を深めるための題材を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 表紙裏に「中学校を卒業するまでの目標」等の自由記述欄があり、学習意欲を喚起する工夫がある。巻末にCan Doリストが掲載されており、生徒が見通しをもって学習できるようにしている。 各単元の扉に学習後にできるようになることが示され、写真等で題材への興味付けが図られている。 各単元の扉に学習後にできるようになることが示され、写真等で題材への興味付けが図られている。 巻末にロールプレイトが付けており、教科書の文を参考にして伝えたいことを整理する活動を設定し、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための工夫が見られる。 海外の伝統行事や観光名所などの国際理解を深めるための題材を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末にCan Doリストが掲載されており、生徒が見通しをもって学習できるようにしている。 各単元の扉に学習後にできるようになることが示され、写真等で題材への興味付けが図られている。 各Unitの最後に、ストーリーの内容を踏まえて自分ならどうするかなどを考える活動が設定され、友達など対話しながら考えを深めていける工夫がされている。 図表等を活用し、伝えたい内容を整理する活動を設定したりするなど、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせるための工夫が見られる。 食文化や世界遺産などの国際理解を深めるための題材を取り上げている。 	
3 内容の配列・分量		<ul style="list-style-type: none"> 単元の配列や分量には、どのような特色があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 【小中接続】 1年生の前半(Unit1~4)で、小学校で既習の文法事項を扱う。(be動詞や一般動詞、heやsheを主語とする文および疑問詞) 各Unitが「聞く」→「話す」→「読む」→「書く」活動で、何度も同じ表現に触れる構成になっている。 【内容の配列】 すべての学年にUnit0(前学年の復習)がある。 2・3年生については、Unitの前半(Part1・2/短めの文章)に重要な文法事項を扱い、Unitの後半部分(長文パート)では、軽めの文法事項を取り扱っている。 学年ごとに、「自己紹介や他者紹介、学校生活」「職業体験・国際交流」「環境保全・国際社会の平和」という配列で、生徒が興味関心をもちやすい身近な話題などから、社会的な話題へと徐々に視野を広げながら、言語活動を行うことができる。 【分量】 ①160ページ、ただし本文は128ページまで、10課 ②151ページ、ただし本文は112ページまで、7課 ③151ページ、ただし本文は100ページまで、6課 	<ul style="list-style-type: none"> 【小中接続】 1年生は、PROGRAM1の前のGet Readyで、小学校の既習事項を扱う。 1年生のPROGRAM1~4は、小学校で既習の文法事項を扱う。(be動詞や一般動詞、heやsheを主語とする文および疑問詞) 【内容の配列】 言語材料は易一難へ配列され、4技能5領域の活動を通じて身に付けられるよう構成されている。 各PROGRAMの最初にScenesとして漫画やアニメ動画で新出表現を導入。 学年ごとに、「自己紹介や異国の自然と文化」「国際交流、自然との共生」「SDGs、国際社会の平和」という配列で、生徒が興味関心をもちやすい身近な話題などから、社会的な話題へと徐々に視野を広げながら、言語活動を行うことができる。 【分量】 ①170ページ、ただし本文は144ページまで、10課 ②162ページ、ただし本文は132ページまで、8課 ③162ページ、ただし本文は132ページまで、7課 	<ul style="list-style-type: none"> 【小中接続】 1年生はLesson1の前のStarterで、やり取りを中心として、小学校の既習事項を扱う。 1年生のLesson1~4は、小学校で既習の文法事項を扱う。(be動詞や一般動詞、heやsheを主語とする文および疑問詞) 【内容の配列】 学年ごとに、「自己紹介や他者紹介、学校生活」「将来の夢、身近な環境問題」「社会貢献、自然科学」という配列で、生徒が興味関心をもちやすい身近な話題などから、社会的な話題へと徐々に視野を広げながら、言語活動を行うことができる。 【分量】 ※巻末資料として、Further Reading、オーディオスクリプト、辞書など ①132ページ、巻末資料51ページ、9課 ②114ページ、巻末資料53ページ、8課 ③112ページ、巻末資料55ページ、8課 	<ul style="list-style-type: none"> 【小中接続】 1年生は、Lesson1の前のSpringboardで、読むことの基礎であるアルファベットを丁寧に扱っている。 1年生のPROGRAM1~4は、小学校で既習の文法事項を扱う。(be動詞や一般動詞、heやsheを主語とする文および疑問詞) 【内容の配列】 学年ごとに、「自己紹介や学校生活」「日本の伝統文化・異文化理解」「環境保全・国際社会の平和」という配列で、生徒が興味関心をもちやすい身近な話題などから、社会的な話題へと徐々に視野を広げながら、言語活動を行うことができる。 ①三人称単数、現在進行形、過去形、助動詞(should、have to~)、未来形他 ②接続詞、不定詞、動名詞、受け身、比較、間接疑問文他 ③現在完了形、後置修飾、関係代名詞、仮定法他 【分量】 ①176ページ、ただし本文は152ページまで、9課 ②176ページ、ただし本文は142ページまで、9課 ③176ページ、ただし本文は134ページまで、7課 	<ul style="list-style-type: none"> 【小中接続】 1年生は、Unit1の前にLet's Be Friends!を入れ、小学校で慣れ親しんだ自己紹介から導入している。 1年生のUnit1~5は、小学校で既習の文法事項を扱う。(be動詞や一般動詞、heやsheを主語とする文および疑問詞) 【内容の配列】 学年ごとに、「自己紹介や学校生活」「日本の伝統文化、異文化理解」「国際社会の平和と発展、環境保全」という配列で、生徒が興味関心をもちやすい身近な話題などから、社会的な話題へと徐々に視野を広げながら、言語活動を行うことができる。 【分量】 ①175ページ、ただし本文は139ページまで、8課 ②175ページ、ただし本文は129ページまで、8課 ③175ページ、ただし本文は121ページまで、8課 	
4 表記・体裁・資料		<ul style="list-style-type: none"> 用語や写真、動画・音声やアニメーション等のコンテンツなどの使用上の便宜については、どのような工夫が見られるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●表記・体裁 1年生は、UDフォントを使用して見やすい 1年生のみ、小学校で学んだ英単語も各パート表記 ●用語・写真・資料 巻末資料のWord Roomでは、絵を多く用いてジャンル別に補充単語がまとまっている 2年生~不規則動詞変化表と形容詞・副詞比較変化表あり スモールステップの問いが各パートActivity1/2/3と設定されている 巻末に簡単なCan-Do Listあり 世界の多様な実態について伝えるコラムが多数 各単元関連のある写真や情報はデジタルマップ活用可 ●動画・音声・アニメーション 教科書のQRコード→デジタル教科書に接続 教科書本文の登場人物による関連動画の充実 速度調整可 生徒の実態や段階によって変更できる ●デジタル教科書 本文と語句の音声再生機能あり 生徒も本文の日本語訳が表示可能 題材導入動画やすべての基本文法解説動画あり 生徒も文法解説動画を見て学習可能 単語や基本文のクイズがあり、定着につながる 思考ツール・デジタルワークシートがすべてのUnit Activityで準備されている 自己表現したいときの語句や表現を検索できる用例辞典 日本語本文のルビ付き、文節を空けて表示可能 SDGsに関する資料やサイトへのリンク[Edu Town SDGs] 	<ul style="list-style-type: none"> ●表記・体裁 デザインや配色・配置が全学年統一のため、課やコーナーが検索しやすい ●全学年、小学校で学んだ英単語が各ページ下にある ●用語・写真・資料 巻末資料のWord Webが英単語と日本語の意味だけで挿絵はほとんどないがシンプルで見やすい スモールトークが各パートでページ下に設定されている 巻末に、各単元のパートごとの具体的なCan-Do Listがある 1年生~不規則動詞活用表あり ●動画・音声・アニメーション 教科書のQRコード→デジタル教科書に接続 速度調整可 生徒の実態や段階によって変更できる ●デジタル教科書 本文と語句の音声再生機能あり 生徒も本文の日本語訳が表示可能 題材導入動画やすべての基本文法解説動画あり 生徒も文法解説動画を見て学習ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●表記・体裁 1年生は、UDIに配慮したフォントの使用 ●用語・写真 巻末資料の「いろいろな単語」は、テーマごとにまとめられており、言語活動の際に使いやすい。また、「単語の意味」では、複数の意味を持つ単語や、ニュアンスが分かりにくい単語などの、簡単な解説も載っている。 1年生、小中連携パートの充実 1年生、小学校で学んだ英単語も各パート表記 イラストや写真が大きく扱われている 1年生~不規則動詞活用表あり 巻末に簡単なCan-Do Listあり ●動画・音声・アニメーション 本文と語句の音声再生機能あり 発音チェック機能がある。(自分の音声を録音して確認できる。) 速度調節可 ●デジタル教科書 教科書のQRコード→デジタル教科書に接続 本文と語句の音声再生機能あり 英和辞典へのリンクがあり、すぐに意味を調べることができる。 New Wordsと小学校の単語に対してのマスク機能あり 学習者用でも文法事項の解説動画あり 	<ul style="list-style-type: none"> ●表記・体裁 手書き文字に近い判読しやすいフォント ●用語・写真・資料 SDGsに関わる題材が多く取り上げられている 巻末に簡単なCan-Do Listあり 巻末に語形変化のまとめがあり比較しやすい 1年生~不規則動詞活用表あり ●動画・音声・アニメーション 教科書のQRコード、音声の確認や「まなびリンク」に接続でき、Word&Phrase学習シートが活用できる。 ●デジタル教科書 本文と語句の音声再生機能あり 自分の声を録音してネイティブと比較して練習可能 生徒用、日本語表示は単語のみ 題材導入動画あり 基本文法解説動画あり 発表モデル動画あり 	<ul style="list-style-type: none"> ●表記・体裁 1年生、手書き文字に近い書体 1年後半~2年、セリフ体を使用 UD書体の使用 小学校で既習語句にマークがついている ●用語・写真 巻末資料に全学年英語の学び方ガイドがある 巻末資料Active Word List 2年生~不規則動詞活用表あり 巻末に簡単なCan-Do Listあり ●動画・音声・アニメーション 教科書のQRコードがあり自宅でも音声の確認ができる。 ●デジタル教科書 まなびユー 単元導入では、音声と動画で内容の見通しをもつことができる。またピクチャーカードの並び替えもできる。 英単語の音声再生機能なし 題材導入動画あり 基本文法解説動画あり You Can Do It!スピーキングテストのコンテンツあり各学年3回分 	